

福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋カバーの屋根パネル  
取り外し作業に係る現地調査結果について

平成26年11月10日

福島県原子力安全対策課

本日(11月10日)、福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋カバーの屋根パネル(2枚目)取り外し作業について、原子力安全対策課職員及び楡葉町駐在職員による現地調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

1 調査日時 平成26年11月10日(月) 6時30分～8時00分

2 調査場所(2班編成)

(1) 免震重要棟緊急時対策室(ダストモニタ監視装置)、リモート操作室

(2) 1・2号機開閉所前(屋根パネル吊り上げ移動作業状況)

3 調査者

福島県原子力安全対策課 渡辺課長 他2名

福島県原子力安全対策課楡葉町駐在 富永副課長兼主任主査 他1名

4 調査結果

(1) 免震重要棟緊急時対策室(ダストモニタ監視装置)、リモート操作室

6時31分から作業を開始し、2枚目の屋根パネル(北3)取り外しが、監視モニターや図面、風速等を確認しながら、現場の作業コンテナ室と連絡や指示を行い、作業計画通り実施されていることを確認した。(屋根パネル取り外し作業自体は7時17分に開始し、8時31分に終了。)

また、ダストモニタの測定値に異常はなく、放射性物質の飛散がないことを確認した。

※ 緊急時対策室及びリモート操作室の操作状況は、核物質防護上の観点から、写真の提供ができません。

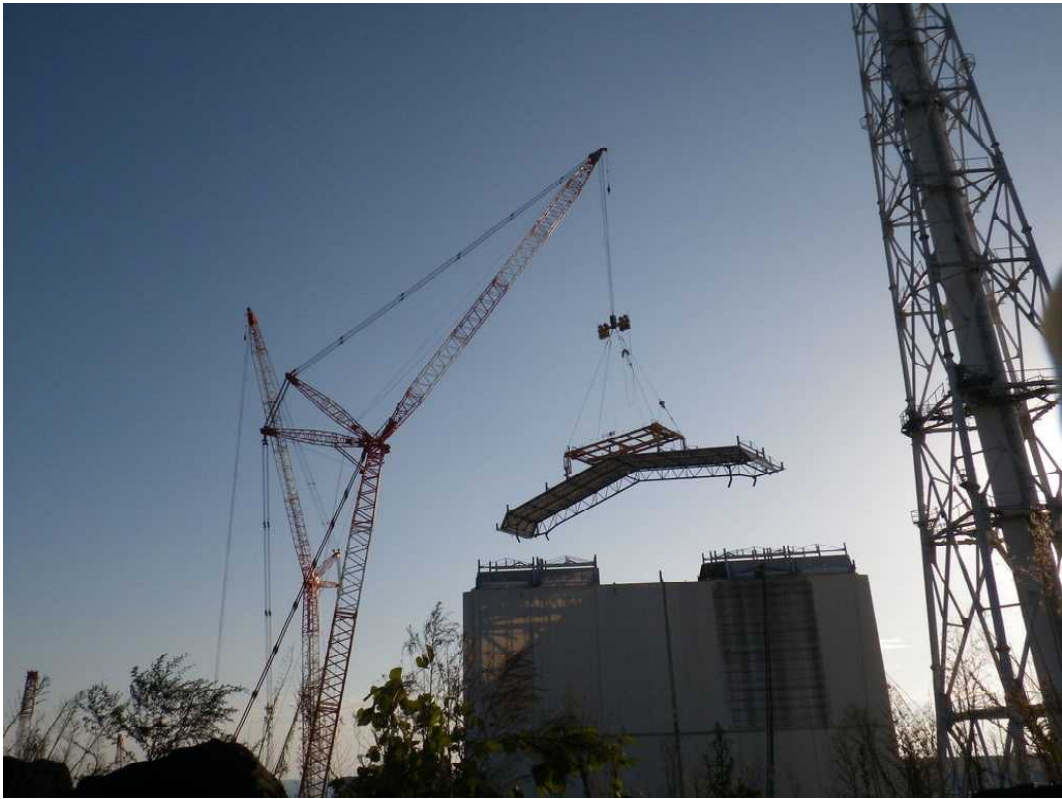
(2) 1・2号機開閉所前（屋根パネル吊り上げ移動作業状況）



① クレーンで屋根パネル吊り上げ用の治具を屋根の上に移動しているところ。



② 吊り上げ用治具を設置し、クレーンで屋根パネルを持ち上げたところ。



③ クレーンで屋根パネルを仮置きヤードに移動しているところ。



④ 仮置きヤードに屋根パネルを置くところ。線量測定を実施し、放射性物質による高い表面汚染がないことを確認。



- ⑤ 屋根パネルの状況。2枚分の屋根パネル（南3、北3）が取り外されている。今後、建屋カバー内のガレキの調査や放射性物質飛散の傾向監視が行われる。
- ※ 予定されていた、屋根パネル（北3）取り外し作業が計画通り行われたことを確認した。（風の影響等は特になし。）

## 5 申し入れ

渡辺原子力安全対策課長より次の2点を東京電力に対して、口頭で申し入れを行いました。

- 当分の間、屋根パネルが開放された状態となることから、ダストモニタ及びモニタリングポスト等による放射性物質飛散に関するモニタリングをしっかりと行うこと。
- 今後実施されるガレキの調査結果等を踏まえ、改めて放射性物質の飛散防止対策の強化を行うこと。

## 6 現場確認

11月7日に発生した、J2タンクエリアにおける鋼材落下による作業員負傷現場、4号機廃棄物処理建屋における漏えい検知器発報現場の状況を確認した。いずれも、現場作業は行われていなかった。